

7月31日(木)

総合司会：秦 さやか、佐藤 崇

9:30-9:45 受付

第5部：地域リソースとの出会いと協働

9:45-10:00 アイスブレイキング

10:00-10:30

馬頭琴(モリンホール)演奏 ～音楽を聞いて「幸せ」を感じよう～

奏者：エルデン・ダーライ（中国・内モンゴル出身）

ユネスコ世界無形遺産に登録されている馬頭琴は、モンゴル語でモリン=馬 ホール=胡弓（こきゅう）楽器を意味する伝統的な楽器です。日本では小学校の教科書にもある「スーホの白い馬」の物語として有名です。馬頭琴の力強くも優しい音色をお楽しみください！

10:30-10:50 分科会プレゼンテーション（※当日参加分科会を決定してください）

11:00-15:00 分科会（A～D）※昼食は各分科会で時間調整

分科会内容&担当団体	団体紹介
分科会A 『世界を幸せにする国際理解教育』 世界中の国が日本と同じ生活レベルになってしまったら地球の資源は足りるの？途上国の人たちと日本人はどっちが幸せ？いろいろな角度から世界の問題を考えます。あなたも日本も幸せにする分科会です。 コーディネート：独立行政法人国際協力機構（JICA）	開発途上地域の経済開発、復興、または経済の安定のために技術協力や資金協力等による政府開発援助を実施している
分科会B 『フィリピンの人々の暮らしから見える「幸せ」』 フィリピンの人々の現地の暮らしを知ることで見えてくる「幸せ」とはどんなものでしょうか。現地からのメッセージを活かした授業実践を考えます。フィリピンとつながる楽しいワークショップです。 コーディネート：特定非営利活動法人 ACTION	フィリピンの孤児院等でのワークキャンプを中心に世界の子どもたちの生活向上を支援する、若者を中心とした NGO
分科会C 『「いただきます」と「ごちそうさま」をありがとう』 自分の「食」の思い出をふりかえり、食べることを多角的にとらえてもらうことで「食べることの大切さ」について改めて考えてもらうワークショップです。「食」を素材に楽しく授業づくりをしてみましょう。 コーディネート：特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド	飢餓に苦しむひとびとの「食べる」を取り巻く環境を変えていき、「生きる」力を育むことで、世界の「明日」へとつなげていく国際協力 NGO です。日本を本部にアジア・アフリカの4カ国で活動しています
分科会D 『エスニック料理ワークショップ』【限定：8名】 おいしく、楽しく、料理で異文化交流。食の多様性にも目を向けてみましょう！そして、「スリランカのカレー」を作って、食べて、話して、「幸せ」を感じるワークショップです。 コーディネート：NPO 法人ラマーミトゥルの会 公益財団法人武蔵野市国際交流協会（MIA）	日本語教室や多言語相談事業を通じて、地域の外国人をサポート。また学校派遣事業などを通して地域の国際交流・理解を促進しています

15:00-15:30 休憩

第6部：理論と実践を“つなぐ” part2

15:30-17:00 分科会発表会&全体ふりかえり、授業実践の可能性を共有します

MIA 夏期教員ワークショップは、教員手作りの国際理解教育ワークショップです

武蔵野市国際交流協会（MIA）では、2000年度から小・中・高校の教員を対象に、地域の外国人や NGO・NPO 等との協働の国際理解教育の授業づくりをサポートしてきました。

そして MIA に集う教員メンバーが参加者の学び合いの視点を大切にした授業の実践研究の成果をこの「夏期教員ワークショップ」でご紹介しています。